

北見市における就労継続支援 A 型事業所の必要利用定員総数について

1.趣旨

- ・第 5 期障がい福祉計画期間中における必要利用員総数は、第 4 期障がい福祉計画終了時における利用定員数同数とする。

2.理由等

- ①現在の利用者定員総数において、今後、利用希望者が増加した場合でも、現状の事業所業種では、充分に対応可能である。
- ②一般就労促進及び利用者の A 型渡り歩き抑制のため、必要以上の整備を抑制。
 - ・安易な A 型事業所への利用希望抑制。
 - ・一般就労へ移行する意欲減退の改善。

3.市内の現状

(1) 定員等

- ・事業所数 9 か所（飲食業系 8 か所・クリーニング等 1 か所）
- ・定員数 1 8 5 人
- ・利用実人数 2 3 4 人
- ・平均日数 2 2 3 日

(2) 利用者の状況

- ・精神障がいのある人の利用者が多く、利用実人数は多いが不安定であり、定員に余裕がある。

- 9 事業所中、7 事業所が精神障がいのある人が多い。
- 精神障がいのある人の受け皿となっている。

4.相談支援事業所の状況

- ・事業所の業種内訳が、飲食業系が多く選択の余地がなく、利用者の技能を活かせる仕事の選択・希望に答えられない。一般就労に向けた仕事の選択・希望への足かせになっている。現状の業種は、十分に充足している。